

CASBEE-広島（2010年ver.1）

Belles中野

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト： CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40			3.2
1 音環境						1.8	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音				遮音等級T-2のサッシを採用している 各住戸の界壁をRC造の180以上としている Lr-45の床仕上材を採用している		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00			3.0	1.00			
設備騒音対策			-				-			
1.2 遮音						1.0	0.40	4.1	0.40	
1 開口部遮音性能		1.0	1.00			5.0	0.30			
2 界壁遮音性能			-			4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			3.0	0.20			
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						1.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御						2.2	0.50	3.0	1.00	
1 室温設定		3.0	0.63			-	-			
室温変動・温度制御			-				-			
3 外皮性能		1.0	0.38			3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性			-				-			
日射・日食制御			-				-			
個別制御			-				-			
設備の空調に依存する配慮			-				-			
設備の空調			-				-			
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.0	0.25	3.5	1.00	3.4
3.1 屋光利用				各住戸の屋光率を約8%としている		1.8	0.30	4.0	0.50	
1 屋光率		1.0	0.60			5.0	0.50			
2 方位別開口			-				0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.40			3.0	0.20			
3.2 グレア対策						1.0	0.30	3.0	0.50	
眩光対策			-				-			
2 屋光制御		1.0	1.00			3.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
1 照度		3.0	1.00			-	-			
照度基準			-				-			
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策				F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用している		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0	1.00			4.0	1.00			
ホルムアルデヒド対策			-				-			
放射性物質			-				-			
カビ・カビ対策			-				-			
ビニルクロム対策			-				-			
4.2 換気						3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50			3.0	0.33			
2 自然換気性能			-			4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			3.0	0.33			
給気計画			-				-			
4.3 運用管理							-		-	
1 CO ₂ の監視			-				-			
2 喫煙の制御			-		-					
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.4
1 機能性						1.0	0.40	4.0	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ				各住戸にGbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備している		1.0	0.60	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			-				-			
2 高度情報通信設備対応			-			5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00				-			
1.2 心理性・快適性						1.0	0.40	2.5	0.40	
1 広さ感・景観			-			4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-				-			
3 内装計画		1.0	1.00			1.0	0.50			
1.3 維持管理							-		-	
1 維持管理に配慮した設計			-				-			
2 維持管理用機能の確保			-				-			
2 耐用性・信頼性						3.2	0.31		-	3.2
2.1 耐震・免震				住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80				-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.7	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.23				-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23				-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09				-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15				-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23				-			
				3種類(給排水用铸铁管、VP管、水道用ポリエチレン管)ともB以上を採用						

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			3.2	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	光ケーブルを採用、MDFの浸水の危険性がない場所に設置している	4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.1	1.00	3.1
	3.1 空間のゆとり				-	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	基準階の階高を2.91mとしている		-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.1	1.00		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性	住戸内給水はサヤ工法を採用し、排水管のコンクリート埋込なし	4.0	0.17		-	
Q3	室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
	LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
	1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40		-	3.0
	2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
LR1	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
	3 設備システムの高効率化		建物全体の8～9割近くの照明設備をLED照明とした	5.0	0.40		-	5.0
	4 効率的運用				-		-	-
	4.1	モニタリング			-		-	
	4.2	運用管理体制			-		-	
LR2	資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
	1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
	1.1	節水	キッチン、浴室に節水型水栓を採用し、便器に節水型を採用している	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
LR2	2	雑排水再利システム導入の有無			-		-	
	2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63		-	2.8
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	ー	3.0	0.20		-	
LR2	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	外壁磁器タイル	3.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.24		-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避			2.5	0.22		-	2.5
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
LR2	3.2 フロン・ハロンの回避			2.3	0.68		-	
	1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用してない	4.0	0.33		-	
	2	断熱材		1.0	0.33		-	
	3	冷媒		2.0	0.33		-	
LR3	敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
	1 地球温暖化への配慮		住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている	4.9	0.33		-	4.9
	2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
	2.1	大気汚染防止	オール電化(エコキュート)を採用し燃焼器具を設けないことで大気汚染物質を発生させない	5.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
LR3	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3	交通負荷抑制	全住戸分の駐車台数を確保している	4.0	0.33		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
LR3	3 周辺環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	0.33		-	
	2	振動		3.0	0.33		-	
	3	悪臭		3.0	0.33		-	
LR3	3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40		-	
	1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
	2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
LR3	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	